



最新鋭はしご車は、先端のバスケットからの放水も可能です

10回 今年も任せて！ 地域の安心

田原市消防出初式が、はなのき広場で開催されました。式には、消防本部・署と消防団あわせて562名、消防車両25台が参加。分列行進や車両行進などが行われました。また、消防署員が披露した特別演技には、11月に導入したばかりの最新鋭はしご車も参加。放水を命中させたパネルから「今年も災害を消しさるぞ！」と、申年にちなんだキャッチフレーズを浮かび上げさせ、田原市の消防を力強くアピールしました。



公害防止協定書に調印する白井孝市市長（右）と発電所代表者

12回 24回 三河湾から風の恵み 風力発電に

緑が浜に田原臨海風力発電所の建設が決定し、事業主であるジェイウインド田原（本社・東京）が市と公害防止協定を結び、公害防止と環境保全を誓約しました。市が推進するたはらエコ・ガーデンシティ構想に合致する事業として、平成17年3月完成を目指します。臨海部で国内最大級の出力2000kW風車11基から、年間4000万kWh（一般家庭約1万2000世帯分）のクリーンな電力がつけられます。



「田原は産業のバランスが良く、活気がある」と評価

12回 13回 市の状態が良い今こそ 次の手を

市が進める行政改革の一環としてまちづくり講演会が開催されました。講師の辻塚也氏（政策研究大学院大学教授）は、「地方自治新時代の田原市のあり方」と題し、少子高齢化や経済の変化に伴う財政構造やコミュニティの変化に触れ、これからのまちづくりと、地方分権時代に求められる市政への住民参加の必要性を分かりやすく説明されました。なお、この講演会の講演録は、田原市ホームページでご覧いただくことができます。



加子吉主消防団長の激励を受ける赤羽根分団3号車の皆さん

12回 28回 年末の警備 どうもありがとう

12月28日（日）～30日（火）の3日間、田原市消防団年末夜警が実施されました。これは、年末の火災の予防と早期発見、窃盗の未然防止、暴力行為の防止などを目的に毎年行われているもので、今回は、消防団員延べ675名が任務にあたりました。消防団員は、午後8時から翌朝6時まで各分団の詰所に待機し、万一の出動に備えながら、消防自動車で管轄内を巡回し、火災予防や戸締まりなどを呼びかけました。